



再びスペイン

サビエル書簡集などから日本、特に山口に
関する話を五回にわた
って取り上げたが、再
びスペインに戻る。
〈ほほえみのキリス
ト像〉

サビエルが生まれ、
十九歳まで過ごしたサ
ビエル城は母の実家の
もので、持参金のような
形でサビエル家のもの
になった。

二階の小聖堂にある
ほほえみのキリスト像
は有名である。

十字架上で処刑され
たキリストは、普通は
苦しい顔を連想する。
ところが、サビエル
城に十三世紀ごろから
伝わるクルミの木に彫
られたキリスト像はほ
ほえんでいる。
神の一人っ子である
キリストが人の世に遣

わされ、死して復活す
るといふ神の計画が成
就したことへのほほえ
みか、あるいはキリス
トが説いた「神は愛」
であり、互いに愛し、
敵をも愛せと言った言
葉通り、自分を処刑し
た者にほほえんだもの
か、いずれにしろ考え
させられる顔であつ
た。

さて、サビエル城か
ら約五十*離れた所に
ナバラ州の州都パンブ
ローナがある。
〈姉妹縁組み〉
我々がサ
ビエル城や
パンブロー
ナを訪れた
一カ月後に
二井山口県
知事を団長
に九十人の
友好訪問団
が訪れた。
山口県が
ナバラ州と



サビエル城のほほえみのキリスト像

ナバラ州と

姉妹縁
組みし
たのは
平成十
五年の
ことで
ある。
これ
より先
の昭和
五十五
年には
山口市
がパン
ブロー
ナと姉
妹縁組
みを結
び、その十五年後に
は、それを記念してパ
ンブローナにヤマグチ
公園が作られた。

我々が泊まったホテ
ルの前にその公園があ
り、春の夕方、老若男
女が散歩などを楽しん
でいた。
サビエルが命をかけ
て伝えたキリストの福
音。天正十五年(一五
八七)、豊臣秀吉の突然
の心変わりでキリスト
教禁教令が出され、以
後二百年以上にわたっ
て迫害が続き、サビエ
ルの志はとん挫したか
に見えた。
しかし、今こうして
行政レベルでの交流に
まで発展した。その礎
はサビエルであった。
あの大成に終わっ



ナバラの人たちに山口県を説明する二井知事(提供・山口県国際課)

た山口さら博の時も
ナバラ州からの出展が
あり、私も赤いハンカ
チを首に巻いて一緒に
ダンスを踊った。
さらに十一月の国民
文化祭にも、ナバラ伝
統芸能団が山口県を訪
れるという。
さら博に続いて国
民文化祭も成功するこ
とを祈りたい。
(テレビ出演)
ところで、CA TV
のKビジョンの「あな
たに会いたい」という
三十分番組に出演し、
間もなく放送される。
私は巡礼記の話と思
って収録に行ったら、
タイトルは「パレスチ
ナに思うこと。これは
娘リカの領分である。
そのうえ前半は先日

突然亡くなった井上雪
彦アナの思い出話にな
った。彼は私の病気に
よる欠員補充のような
形で入社し、十五年間
組合で苦しみをともし、
最後の八年はラジ
オ局次長として局長の
私を支えてくれた。彼
の死ほど、人の命のは
かなさを思い知らされ
たことはない。
通夜も葬儀も葬儀屋
さんベースだったが、
言葉のエンターテイナ
ー・井上雪彦。長年の
名コンビ三池和尚や鈴
木久美さんの追悼の言
葉を聴きたかった。
寺の二男として生ま
れた彼のめい福を心か
ら祈りたい。享年六十
歳だった。
それにしても、モニ
ターTVに映った私の
はげ頭、ナバラを放し
た時、バスクのベレエ
帽が買えなかったこと
が本当に悔やまれる。
なお番組は九月四日
から一週間、朝八時、
昼一時、夕方七時半の
三回放送される。
(元山口放送取締役ラ
ジオ局長)



故井上雪彦アナウンサー